

地元高校生が観光客向けイベント

JR浜坂駅の活性化を目的にしたイベントをPRする生徒たち。新温泉町芦屋の浜坂高



浜坂の魅力知って

28日 浜坂駅 地元料理や土産物販売

赤字路線とされている山陰線の主要駅であるJR浜坂駅の活性化につなげようと、浜坂高(新温泉町芦屋)グローカーキヤリア類型の2年生11人が28日、同駅北側でイベントを開く。午前10時〜午後2時。地元の食材を使った料理や土産物を販売する予定で、生徒たちは「観光客に町を知ってもらい、浜坂駅の利用者を少しでも増やせたら」と意気込んでいる。

(井上雅大)

生徒たちは、授業で町内の特産物を使った商品開発や町の知名度向上などに取り組んでいる。今回のイベントは、駅周辺の活性化を目的にした県補助金などを

活用して企画した。

当日は、全国有数の水揚げ量を誇る同町特産のハタハタを使った炊き込みご飯を、生徒が手作りして1食100円で販売するほか、道の駅山陰海岸ジオパーク浜坂の郷(同町栃谷)で扱っているちくわやとち餅、せんべいなど計7品の土産物を代行販売する。

「浜坂みなどカニ祭り」の開催で多くの観光客が見込まれる来月18日にも開く予定。企画した生徒の一人、植田大翔さん(17)は「駅周辺が活性化することで、町全体の活性化にもつながると思う。イベントが、今後も観光客が町を訪れる動機の一つになれば」と話している。

同駅のある山陰線は、昨年4月にJR西日本が公表した赤字路線の一つ。廃線の危機感を強めた県は、協議会を立ち上げ、同社や沿線自治体など利用促進に向けた議論を続けている。